



2026年6月15日

各 位

会社名 株式会社リアルクオリティ
(コード番号 398A TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役CEO 小林 豪
問合せ先 執行役員CAO 小口 拓朗
T E L 03-6712-6474
U R L <https://www.realq.co.jp/>

TOKYO PRO Market への上場目的の開示について

株式会社東京証券取引所が2026年4月3日付で公表した「TOKYO PRO Market上場目的の開示のお願い」に基づき、当社のTOKYO PRO Marketへの上場目的及びその実現状況について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. TOKYO PRO Marketへの上場目的

当社が営む旅館ホテル再生事業は、観光需要の多様化や地方創生の加速を背景に、今後もさらなる市場拡大が見込まれています。このような環境下において、高品質なサービスの提供と持続的な成長を両立した継続性のある経営を実現するためには、「優秀な人材の確保」と「新規施設取得のための投資資金」の獲得が不可欠です。当社は、TOKYO PRO Marketへの上場を通じて、知名度の向上、社会的信用力の獲得、および資金調達能力の改善・向上を図り、これらを経営基盤の強化に繋げることを主たる目的としております。

2. 上場目的の実現状況

(1) 知名度・信頼性の向上

上場により獲得した社会的信用は、旅館ホテル再生という専門性の高い事業領域において強力な推進力となっております。上場企業としての透明性とガバナンス体制が評価されたことで、金融機関や事業パートナー等からのM&A案件の紹介件数が大幅に増加しており、案件獲得の質・量ともに飛躍的な向上が見られます。上場後に金融機関や事業パートナーから持ち込まれる案件紹介数は、非上場時と比較して約30%増加しております。

(2) 顧客領域の拡大

社会的信用の向上は、独自の再生スキームを背景としたファンドのソーシングおよび組成においても多大な貢献を果たしております。投資家やパートナー企業に対し、上場企業として公正かつ持続的な運営を担保できるようになったことで、大規模案件や広域でのファンド組成機会を確保できる体制が構築され、事業の裾野が着実に拡大しております。現在、当社が関与する運用・再生施設の総数は12施設に達しており、地域金融機関との共同ファンド組成などの新たなスキームも具体化しております。

(3) 優秀な人材の確保

「上場企業」というブランドは、採用市場において非常にポジティブな影響を及ぼしています。特に、当社の成長を支える専門性の高いプロフェッショナル人材や次世代を担う若手人材の確保において、社会的信頼の向上が応募者層の質の改善に直結しております。上場前はゼロだった新卒採用が上場後は5名となり、将来の成長を支える組織基盤の強化という面で具体的な成果を実感しております。

(4) 資金調達能力の改善・向上

上場により財務の健全性と透明性が評価され、金融機関とのリレーションが強化されました。上場後、新たに金融機関との取引を開始したほか、既存の借入についても金利条件の低減や融資枠の拡大といった条件改善が図られております。これにより、迅速な施設取得に向けた機動的な資金確保が可能となりました。

3. 今後の取組み

当社は、中長期的なさらなる成長と株主価値の向上を目的として、将来的な一般市場への市場変更を重要な経営目標として位置づけております。現時点において、具体的な市場変更の時期や対象市場は確定しておりませんが、TOKYO PRO Marketでの上場期間を「一般市場の上場基準に相応しいガバナンス体制および内部管理体制を構築するための助走期間」と捉え、段階的に体制整備を推進しております。事業成長の進捗および市場環境を総合的に勘案し、最適な時期に具体的な計画を策定・開示してまいります。

以 上

【ご留意事項】

本資料に記載された内容は、現時点における当社の認識及び予定に基づくものであり、当社の今後の事業展開又は業績等を確約するものではありません。経営環境の変化等により、本資料に記載した内容との間に乖離が生じる可能性があります。